

平成14年度第3回岡山市総合政策審議会都市・交通部会の主な意見

1 日 時 平成14年10月25日（金）午後1時30分～3時04分

2 場 所 ほっとプラザ大供2階第2研修室

3 出席者 委員14名中8名出席

岡山市：山内都市整備局長、広瀬まちづくり担当局長、高橋局次長、  
池上都市開発部長、青木公園緑地部長、小寺土木部長、  
青山西部新拠点まちづくり推進本部長 ほか  
事務局：高橋参事 ほか

4 傍聴者 なし

5 会議概要

(1) 傍聴の許可

(2) 議題の説明、質疑応答及び事務連絡

6 主な意見

1 岡山駅西口広場及び東西連絡自由通路の整備について

○すべてのバス乗降場に屋根を設けてほしい。

○新設されるバスや一般車の乗降場と既存地下通路を結ぶエレベータのようなものが必要ではないか。

○一般車駐車場のスペースがもう少し必要ではないか。

○バリアフリーの視点をもったレイアウトになっているが、障害者にとって実際に使いやすいかどうかは障害者にしか理解できないと思うので、障害者の意見も交えながら計画を作っていくしてほしい。

○線路沿いの2階デッキは短くして、1階の一般車駐車場からスロープ下を通過して2階デッキに上がることができるようにしたらどうか。

○一般車の駐車場と乗降場との位置を入れ替えたほうが便利ではないか。

○屋根を単に付けるのではなく、ドゴール空港のように、透明のチューブのような斬新なものにして、岡山のシンボルにもなりうるようなものにしたらどうか。

○基本的には良いレイアウト案となっており、あとはいつできるのかということになる。

○隣接する土地を確保することにより、一層有効な使い方ができるのではないか。

○スロープ下の交差点が混雑するのではないか。

○一般車駐車場から改札までの距離が長いように思われる。屋根の設置も含めて検討してほしい。

○簡単な改札口を数多く設けると便利である。

○景観形成は緑に頼りがちであるが、構造物や建築物などで景観を形成していくという発想も必要であり、この機に試みてはどうか。

2 木造住宅耐震診断補助事業について

○法改正前の建築基準を満たしていた建築物が、改正後の基準に達しない場合もあるが、これらを放っておくのではなく国家的な対応が必要ではないか。